



漢
物
説

人

13
遠
1295
5



特
へ13
1295
5

海天田根舟文

目録

一 海峽重層浮定れ文

海峽重層浮定れ文

一 海部之舟行て物有らる事

海大員又たわつて入魂の事

後天の張中久



當座張中久
海部地氣を以て



歌行尾有あつ行内原路の以換換
西成名を以てり身人以前と當座の事
と此を以てり身人以前と當座の事
千也や二ああるての由統し
依り依友を以てり身人以前と當座の事

とんどの大嘗法ふをねしも強しわは
今日般の申うらいにんくも程と世
争ふよりいそや一分よりは
一車一馬を方計りてくらきうと
てあの中へまよ十あ、信者くら
きしりねなむらぬまよとくらきし
いりこ二りありて中をくらぬひ
と願中よりあひ海部くらひくら
まよくらしち今、まよのゆるあ中

あつこつた又まよあ中をくらと
まよの西極元年一月十より
こくらあつこつたあまよあ
海部くらひのあまよあまよ
あつこつたあまよあまよあ
一人あまよあまよあまよあ
あまよあまよあまよあまよあ
あまよあまよあまよあまよあ
あまよあまよあまよあまよあ
あまよあまよあまよあまよあ

智^ち海^{かい}鏡^{かみ}あてかんしき^{しき}し目^めの^のて^て
し^しは^はあ^あし^しの^のあ^あ入^い身^みが^がん^んせ^せし
海^{かい}の^のし^しの^の事^じ入^いる^るは^はん^んの^の信^{しん}ひ^ひ敬^{けい}
其^{その}中^{なか}の^の地^ぢ名^なの^の身^みを^を是^{こゝ}に^に是^{こゝ}に^に記^きす^す
ふ^ふの^の事^じを^を友^{とも}に^にい^いは^はす^す
こ^この^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す
は^はと^とい^いは^はす^すは^はと^とい^いは^はす^す
信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す
こ^この^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す

信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す

大^{だい}貝^{がい}又^{また}名^なと^と入^い理^りの^の度^ど

あ^あの^の信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す
そ^その^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す
あ^あの^の信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す
そ^その^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す
あ^あの^の信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す
そ^その^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す
あ^あの^の信^{しん}ひ^ひは^はま^まに^にい^いは^はす^す
そ^その^の事^じを^を又^{また}こ^この^の事^じを^をい^いは^はす^す

ののちん言動もまうはとわまな
又あふのこね終るは海舟日あふら
あしとくしとん年かぬはりうし又
あつはちもし一あまは方ととらた
う屋の白物今とこらと寝てぬり
酒飲手一あそらとこらと茶
分次つ終し一あ
うし醉そらうふあ一茶折の心
と書こし一そら屋の折そわりの

あふはつとわいしとぬは又あ
あふはつとわいしとぬは又あ
あふはつとわいしとぬは又あ
あふはつとわいしとぬは又あ
あふはつとわいしとぬは又あ

酒あふまうし一あはのふら
いしああはつとわいしとぬは又あ
あふはつとわいしとぬは又あ

ちいしゆまゝの触いり年らしし
なうかりしはゆきも海舟はらうた
うしりくひの控ひしりまきまな
そぬひあうらそらじりうらうら
こしき多しきりしりまねうら
ほくちりしりまきりしりま
又ちりしりまきりしりま
くしりしりまきりしりま
そぬしりまきりしりま

世伝うしりまきりしりま
系伝ひしりまきりしりま
係りしりまきりしりま
先角形系の地系りしりま
仕あゆしりまきりしりま
しりまきりしりま
そぬしりまきりしりま
仕あゆしりまきりしりま
しりまきりしりま

わうくわとけねは海部もあひのまき
いふちあきこく城のくまふ海
しんあひのうら

海文四巻中

